

市政ニコニコス

大相撲豊岡市場所
3,000人が大歓声、力士とふれあう



横綱朝青龍(左)と大関栃東の結びの一番

10月25日、県立但馬ドームで新市誕生記念事業「大相撲豊岡市場所」が開催され、市内外から集まった約3,000人の観客で賑わいました。前日の24日には、太鼓を鳴らし相撲の開催を知らせる「ふれ太鼓」が市内の小学校など6つの地域を回り、子どもたちや地域の皆さんが、幕内力士と相撲を取ったりしてふれあいました。



人気力士の高見盛とふれあう観客

大相撲当日は、激しいぶつかり合いの公開稽古に始まり、ちびっこ相撲、相撲の禁止手を紹介する初切や相撲甚句、櫓太鼓の実演、横綱の土俵入りなどが披露されました。幕下、十両、幕内の取り組みでは、観客から声援が送られ、迫力ある相撲に歓声があがりました。間近で人気力士とふれあい、日本を代表する伝統文化を楽しみました。

とよおかスポーツ
フェスティバル2005
市民相互の交流が深まる



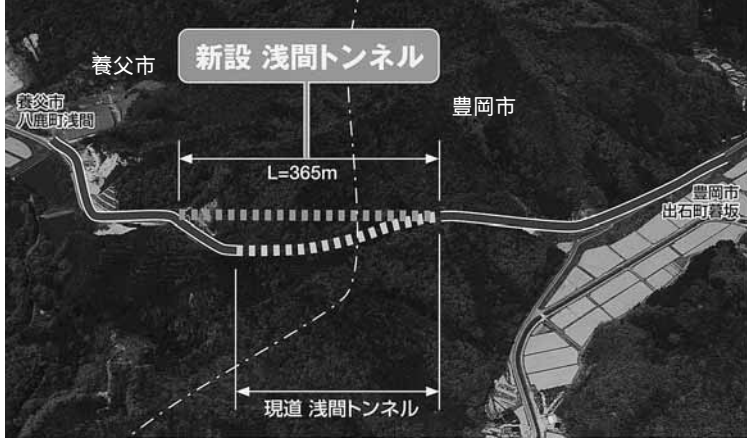
華やかな神戸松蔭女子学院大学「Seagulls」のチアリーディングショー

10月10日、県立但馬ドームで新市誕生記念事業「とよおかスポーツフェスティバル2005」が開催され、市内から約1,000人が集まり、スポーツの秋を満喫しました。会場では、空手道の演武、河口正史さん(元NFLアメリカンフットボール選手)のトークショー、神戸松蔭女子学院大学のチアリーディングショー、はばタンダンスの合同演技会などが行われました。スポーツイベントでは、グラウンドゴルフ大会、ドッジボール大会、体力測定講習会などが行われ、市民相互の交流が深められました。

浅間トンネル貫通式
来年の国体開催までに開通を目指します

出石町暮坂と養父市八鹿町浅間を結ぶ県道宮津養父線「浅間トンネル」の貫通式が10月23日、トンネル坑内で行われました。

式典では、はじめに貫通発破の点火が行われ、貫通点の確認の後、関係者や地元市民は、万歳三唱を行い、トンネルの貫通を喜び合いました。トンネルは、延長365メートル、片側1車線で、全幅7メートルの車道と幅2メートルの片側歩道を整備し、来年の国体開催までに間に合うよう開通を目指します。



貫通点で通り初めの握手をする塚本収入役(右)と養父市の梅谷市長

新しいまちづくりの話し合いがスタート

総合計画審議会

新しい総合計画の策定にあたり、11月14日、豊岡市総合計画審議会が発足しました。本審議会は、平成19年度から向こう10年間のまちづくりの計画について調査・審議する機関で、学識経験者、団体代表者、公募委員など30人で組織されています。

初会議では、中貝市長が委員に委嘱書の交付を行い、会長に小浦久子さん（大阪大学大学院助教授）、副会長に中瀬勲さん（兵庫県立大学教授）が選任されました。

今後、まちづくり懇談会や市民アンケートなどの結果を



中貝市長から委嘱書の交付を受ける「豊岡市総合計画審議会」の委員

参考にして、平成18年12月の市議会に提案すべく基本構想案をまとめる予定です。

総合計画企画委員会



職員に対して新市のまちづくりのイメージを語る中貝市長

10月31日、総合計画に必要な調査・研究や総合計画の素案作成を行うため、市職員による総合計画企画委員会を設置しました。委員会には都市基盤部会、農林水産部会、商工観光部会、市民環境部会、健康福祉部会、教育文化部会、消防防災部会、行財政部会、企画総務部会の9つの部会を設け、全職員の中から任命された81人の職員が新市のまちづくりについて、積極的に議論を展開していきます。

城崎保育園で石綿とみられる繊維が検出 総合支所に移転して保育を行う

10月14日、城崎町湯島の社会福祉法人「城崎保育園」の園内で、大気汚染防止法の基準値を超過する石綿の可能性が高いとみられる繊維が検出され、城崎総合支所3階に保育場所を移転し、保育を始めました。

繊維が使用されていたのは、園舎の屋根裏で、昭和41年の改装時に結露防止のために吹き付けられたものです。屋根裏のため、園内に飛散する可能性は低いと考えられていましたが、10月3日に検査業者

による空気濃度調査を行い、10月13日に報告を受けました。結果、廊下で空気1リットル中、繊維数10本の基準値を上回る12本が検出されました。現在、園では検体検査の結果を踏まえ、除去等の検討を進めています。



行われた城崎保育園の廊下空気濃度調査

2つの中学校で石綿検出

10月31日、豊岡南中学校と日高西中学校の校舎の階段裏に吹き付けた建材から白石綿が豊岡南中学校で3パーセント、日高西中学校で4.7パーセント検出されました。

11月5日に行った空気濃度調査では、豊岡南中学校で空気1リットル中、0.5未満、1.5本、日高西中学校で0.5、2.2本が検出されました。これは大気汚染防止法上の基準を下回る数値ですが、念のため飛散防止対策等を検討中です。

「但馬初 病後児保育施設「チャイルド・ケアセンター」が開園しました

11月1日、但馬初の病後児復期の子どもを一時的に預かる病後児保育施設「チャイルド・ケアセンター」が、豊岡市下陰のチャイルドハウス保育園の敷地内に開園しました。



開園を祝い、歌を合唱するチャイルドハウス保育園の園児たち

施設は、木造平屋建、床面積42平方メートルで、保育室、安静室、隔離室があります。総事業費は、約1,200万円で、市が約400万円を補助しています。施設の運営は、市が委託している社会福祉法人「豊友会」で、子ども2人

人権擁護委員2人再任

21人の人権擁護委員のうち2人が任期満了に伴い、新たに法務大臣から委嘱されました。10月1日付（任期3年）

再任 八木啓明（竹野）
再任 由利 梢（但東）

問合せ チャイルド・ケアセンター ☎29・3900